

産業 その1(事務局加筆はアンダーライン)

No	1	2
交付金	○	
プロジェクト名	・6次産業化～ <u>第一次産業と加工・販売業者とのマッチングを促進</u>	・企業誘致と活性化
課題	・6次産業化が進んでいない	・企業誘致が進んでいない
対象	・農産物(生産者)	・潜在的に池田町へ進出する希望を持っている会社 ・池田町内外の企業
内容	マッチング会の実施	・税収と雇用確保
誰と	・生産者 ・加工業者(販売) ・町	・役場 ・企業経営の経験者
どうして	・商品化して付加価値を高めるため ・収入アップのため	・住民サービスの向上 ・町人口の流出を止めるため
手法	・ <u>町内第一次産業の実態調査;ヒアリング等を行い、6次産業化へむけて加工・販売等の必要な機能を精査する</u> ・ <u>加工業者・販売業者等の調査・参加呼びかけ;中京圏などの加工業者などの調査及びマッチング会への参加を呼びかける</u> ・ <u>マッチング会の企画・実施;マッチング会で、町内第一次産業者と加工・販売業者の間で具体的な商談を進める。マッチング会には、金融機関も参加し、金融的支援も進める</u>	・原因分析 ・情報収集
場所		・〇〇プロジェクトチーム(行政)
どんな順番で	1) 2) 3)	1) 2) 3)
結果として、 どんなまちになる?		

産業 その2(事務局加筆はアンダーライン)

No	3	
交付金	〇	
プロジェクト名	・より積極的な情報発信～IT・SNSを活用した特産品の情報発信	
課題	・情報発信が弱い	
対象	・町内外の人	
内容	・池田町内の特産品を町内外で消費してもらう	
誰と	・生産者と役場以外のスタッフ ・ITが分かる(起業したい)若者 ・町(音頭取り、バックアップ)	
どうして	・知られていないから知らせるため	
手法	<p>・SNS(IT)を使用</p> <p><u>・町内第一次産業の実態調査:ヒアリング等を行い、特産品の募集、広報・販売に関するニーズ調査を行う</u></p> <p><u>・販売手法の検討:ITやSNSを活用した販売手法や、直接的な販売手法の検討を行う。その際にはパッケージデザイン・キャッチコピーなどを検討し、総合的な付加価値を向上させる</u></p> <p><u>・IT・SNSを活用した情報発信・販売促進の実施:町内特産物の情報発信や販売促進を目的とした各種ウェブサイトを構築する</u></p>	
場所	・産業課	
どんな順番で	1) 2) 3)	
結果として、 どんなまちになる？		